

3年道徳通信 第20号

第20回『根本を究めて——「お茶博士」辻村みちよ』

お茶の渋みの成分を明らかにしたのは日本初の女性農学博士、辻村みちよです。みちよには常に「物事の真理を究めることに対する興味」がありました。当時日本で大学の門は女性にはほとんど開かれておらず、無給の副手として北海道帝国大学で熱心に研究しました。その後、理化学研究所で緑茶の研究を始め、ビタミンCの含有を発見し、日本茶の輸出に大きく貢献しました。アメリカの研究者に異論を発表されると、抽出実験を再開して自説の正しさを立証します。そして、ついに渋みの成分を解明し、学位を授与されました。

その後も「あせらず、ゆっくり、たゆみなく」という信条を貫き、研究一筋に生きてたのでした。

みんなの意見

なぜ、「あせらず、ゆっくり、たゆみなく。」を貫くことができたのか？

- 成功させたいという強い思いがあったから。
- 研究することが生きがいで、苦しいけど楽しんでた。

震災の時、化学てんびんだけを抱えて飛び出したのは、どんな思いから？

- 研究者になるのが難しい時代に研究者になれたみち代さんからしたら、研究で使う物は命と同じくらい大切な物なのだと思う。
- 他の物はなくなってしまうても研究だけは続けたいと思ったから。
- 研究に対する必死な姿勢。ここで終わらせたくないという思い。

辻村みち代の生き方からどんなことを学びましたか？

- 好きなことを追求し続けるのはいいことだと思った。一生懸命ってかっこいい。
- 女の人が研究する環境とか整っていない時代に、あきらめずに研究を続けてやり通すのはすごいと思っし、そうやってやり続けることが大切だと思いました。
- 何かに打ち込んで努力している人は本当に尊敬するし、すごいなと思った。
- 自分のやりたいことへのあきらめない心というのを学びました。受験生なのでしっかりと自分のやりたいことを見つけたいです。
- 周りに流されないこと。
- この人みたいに目標までの道のりを楽しめるくらいの余裕を持ちたいと思った。
- 好きじゃないことでも自分のために必要なことをやり通して、受験を頑張りたいです。

真理を探究するのに大切なことは、
何だろう。

